



2026 年 1 月 21 日発行
通算 第 274 号

会員だより 2026 年 2 月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103
Tel&Fax. 03-3734-7932 / ✉ npoogc@yahoo.co.jp
<https://hanamidori.sakura.ne.jp/>

なぜ、いま、多年草なの？

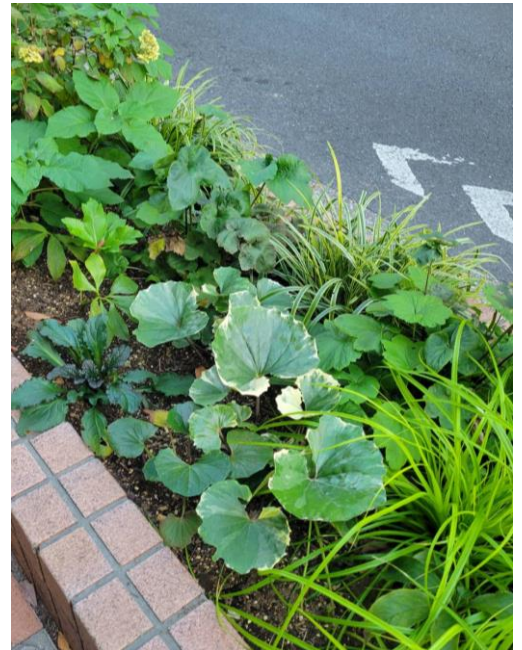
今年度、蒲田駅前花壇の3分の1ほどの面積を、多年草ガーデンにしました。今後だんだんと多年草ガーデンに変更していく予定です。

一年草だけのガーデンと異なり「いつもきれいなお花がわんさか咲いている」とは言えませんが、季節ごとに花のリレーを楽しむことができ、また、高低差のあるダイナミックなガーデンになります。一年目の今年度は、見た目が地味に見えると思いますが、時間が経つにつれ、立派に変化してくるはずですよ。多年草もお手入れは必要です。適宜、伸びすぎた枝葉を切って姿を整え、風通しをよくする、などの手入れはしていきます。多年草を植えると、一年草のように春と秋の植え替えを必要としないので、作業はちょっとだけ楽になりますが、単に作業を楽しみたい、ためだけではない、理由があります。

■地温が低い地中深くまで根が伸びて暑さ寒さに強い

このところの夏の暑さは「長くて厳しい」と思いませんか？

気温が35度を超える日が続く、人も植物もヘロヘロになりますが、土の中の深い部分は温度が割と一定に保たれていて、地中深くまで根を張る多年草は、厳しい暑さに耐えることができます。つまり「多年草ガーデン＝気候変動に強い庭」といえます。



↑ 蒲田駅西口シンボル道路花壇。今はグリーン多めですが、来年からは季節ごとの開花が楽しめます。

■植え替えなし＝掘り起こしなし＝土にやさしいガーデニング

ここ数年、土の中の環境についても見直され、土のでき方や腐植の役割について、注目が集まっています。半年ごとに植え替える一年草の庭では、せっかくできてきた土壌環境を定期的に壊すことにつながり、安定した土壌環境を育てているとは言えません。多年草を植えて、植え替えなし、耕さないことが、土壌環境の安定につながります。植え替えはしませんが、年に1回、腐葉土やたい肥をマルチング(土の上に薄く敷きのぼすこと)することで、土の乾燥を防いだり、土壌環境を安定させたりすることにつながっています。

■みどり基金のご案内

今回、会員だよりと一緒に、大田区で始まった「みどり基金」の案内を入れています。グリーンプランおおた推進会議で何度も検討して始まった新しい制度です。どうぞご参考になさってください。



～2月の活動のご案内～ 活動アンケートで事前申込みをお願いします！

■せせらぎセミナー「花とみどりのつどい」

2月8日(日) 13:30～ 定員10名(申し込み先着順) **多摩川台公園古墳展示室前集合**

「花とみどりのつどい～多摩川台公園の植物観察と勉強会」講師: 深谷拓実氏

※いつもと日程、場所ともに異なります。ご注意ください。

■18色ガーデンボランティア(本庁舎前)・森ヶ崎緑華園「ガーデン講座」

2月はお休みになります。

会の活動フォトレポート

☆最近の活動のようすをご紹介します



大岡山駅前コミュニティガーデンでは12月に約1000株のシバザクラを植えました。



→下丸子駅前花壇の作業風景。腰高のプランターもあって比較的作業しやすくなっています。

大岡山駅前花壇 12月20日(土)



今年の冬はレモンが豊作で、10個の実が収穫できました。

花とみどりのつどい 1月4日(日)田園調布せせらぎ公園



みんなで公園内にあるシダ類を観察。講師の深谷拓実さんから解説を受けました。

区民農園オープンデー 1月7日(土)梅の木区民農園



千葉大の三輪正幸先生による剪定実践講座は好評です。

＜大田区環境マイスターの会と情報共有しています。
一緒に楽しみながら参加されませんか？＞

■多摩川河口生物調査冬編

日時:2026 年2月18 日(水)11:00 集合

集合:弁天橋鳥居前集合

2時間ほど歩いて観察します。防寒と長靴の着用をお願いします。

参加費:無料

※上記の申込先:okm.000master@gmail.com →→→



＜今月の会員だよりの同封物＞

◆活動カレンダー ◆「みどりの縁側」だより2月号 ◆活動アンケート(会員のみ)

◆せせらぎセミナーチラシ ◆「みどり基金」チラシ(会員のみ)

※運営委員の皆さまには1月度運営委員会の議事録等を同封しています

※有償活動に参加された方には、ポイント発行案内及び内訳票を同封しています。